

がん遺伝子パネル検査病理組織検体情報

がん遺伝子パネル検査施行にあたり、準備をお願いいたします。(準備の際は口にチェックを入れご確認ください)

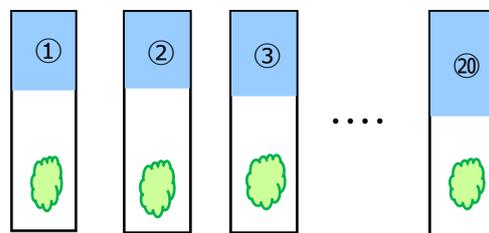
以下、①②③のご準備及び、④記載後、本票も一緒に郵送して下さい。

① **パラフィン包埋ブロック** 原則として**ブロックの提出**をお願いいたします

- ・包埋ブロックは**病変を代表する1ブロック**でお願いします。
- ・腫瘍検体サイズが 5mm×5mm 以上、原則3年以内作製のブロックが対象です。

※ブロックの提出が困難な場合は、未染スライドの提出をお願いします。

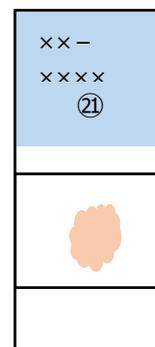
- 未染標本スライド 5µm 20枚
(シランコーティングガラス使用)



- ・薄切順の通し番号をスライドガラスに記載し、1 ガラス 1 切片のみ貼付して下さい。
(②でお願いする貴院の病理番号や患者名は不要です)

② **上記ブロックより作製した HE 染色標本 1枚**

- ・未染標本供与の場合、未染標本 20枚薄切後 (21枚目)に作成をお願いします。
(腫瘍の残存量に使用します)
- ・ブロック貸出の場合でも HE 染色標本 1枚をお願いします。
- ・送付 HE 標本の返却は エキスパートパネル終了後になります。
- ・貴院の病理番号をご記載下さい。(下記③との照会に使用します。)



③ **貴院の病理診断書の写し**

④ **ご提出いただく病理組織検体の条件**

- ・検体採取部位： ()
- ・固定に用いたホルマリン： 10%中性緩衝ホルマリン その他 ()
- ・ホルマリン固定時間： 24時間以内 24-48時間
 48時間以上 (日間) 不明
- ・検体採取法： 手術 生検
- ・検体採取日： _____ 年 _____ 月 _____ 日
- ・腫瘍細胞含有率： _____ %
- ・検体の脱灰： なし EDTA 脱灰 その他の脱灰 ()

※遺伝子解析に用いる未染標本作成(次ページ参照)に関して多くの注意点があります。

未染標本作成時の注意点

貴院にて未染標本を作製して頂く場合には、以下の点にご留意ください。

- ① マスク、手袋の着用(それぞれ、新たなディスポーザブル製品を使用)の上、薄切前に必ずマイクロトームの刃を交換し他検体の混入(コンタミネーション)がないようにご配慮ください。
- ② 薄切水槽は十分洗浄してから使用し始めてください。ディスポの容器などを使用することもコンタミネーション方法となります。水槽の水は症例ごとに新しい水に交換してください。
- ③ 酸脱灰(KCX 等)した検体は検査できません。脱灰が必要な際は EDTA 脱灰期間が 5 日以内でお願いします。EDCA 脱灰でも検査不能の場合があります。
- ④ 検体の大きさによっては未染標本提出のご施設には追加標本作製をお願いする場合がございます。
- ⑤ FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル検査用未染標本作製時は伸展せず、水切り後、室温乾燥でお願いします。(HE 標本は伸展をお願いします)
- ⑥ 標本作成費、送料等は貴院にてご負担くださいますようお願い致します。

その他注意点

- ① 検体については、日本病理学会の「ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程」に準拠した取扱いをお願いいたします。
- ② 貸出されたブロックの返却はエキスパートパネル終了後となります。通常約2カ月で返却の手続きを行います。生検等の微小検体では組織を使い切ってしまう場合がございますのでご了承下さい。

【病理標本に関するお問い合わせ先】

済生会宇都宮病院 地域連携課

電話受付時間 月～金 9:00 ～ 17:00

TEL:028-626-5595(直通)

【病理組織検体送付先】 配達記録の残る方法で郵送してください。

〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町 911-1

済生会宇都宮病院 地域連携課